

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「川口市民生委員 児童委員協議会」

厚生労働大臣から委嘱され、市民一人ひとりの立場に立って相談に乗り、必要に応じて関係機関などへ情報の提供や連携をして問題の解決に努める、地域の一番身近な相談相手の民生委員。児童委員も兼ね、地域の子もたちが元気に安心して暮らせるよう、見守りも担い、日々、社会奉仕の精神をもって活動している「川口市民生委員児童委員協議会」のみなさんを岡村市長が訪問。活動状況などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので10月です。もう年末が近いという思いが迫ってきます。さて、今月の市長のふれあい訪問は、市民のために働いている方々をぜひみなさんに知っていただくこうと、先月の保護司さんへ続き、今月は「川口市民生委員児童委員協議会」のみなさんを訪問しました。どうぞよろしくお願いします。はじめに業務内容を教えていただけますか。

大谷 民生委員は、市民生活のすべてのことに関わりなさいといわれており、赤ちゃんからお年寄りまで男女を問わず、障害者も問わず手を差し伸べて、ニーズをうまくキャッチして官公庁や関係機関などにつなぐことが主な仕事です。

市長 すごく幅の広い仕事ですね。民生委員は児童委員も兼ねているのでしたね。

羽鳥 地域で小・中学校と連携して子どもたちの様々な問題に対応します。また、虐待などの問題があれば関係機関に取り次



ぎます。

市長 なるほど、ところで民生委員制度というのはいつ頃できたものですか。

深尾 大正6年に岡山県で貧困相談として済世顧問制度ができ、翌年大阪で方面委員制度ができました。この二つが制度のもとになったと聞いています。

市長 保護司の活動も民間の方々のボランティア意識から生まれたと聞いていますが、こうした民間の方々の力は、本当にすごいなと感じますね。現在、市内では民生委員は何人くらいいらっしゃいますか。

吉川 定員は618人ですが、現在は市内17地区に592人います。

市長 ひとり何世帯くらい受け持つのですか。

吉川 500世帯から600世帯くらいです。

市長 報酬はあるのですか。

大谷 ありません。活動費だけ

です。

市長 そうなんですか。大変ですよね。ボランティアの気持ちが強くないとできないことです。東日本大震災のときは、市内でも民生委員のみなさんが活躍されたと伺いました。

横田 一人暮らしの方々を一軒一軒回りました。停電などで不安だったらしく、顔を合わせたのとほっと安心してくれましたね。

市長 本当にそうですね。私もなさんからもたくさん高齢者のみという声が届きました。大震災の被災地にも行かれたと聞きました。

大谷 震災半年後に気仙沼に行きました。現地の民生委員の会長と社会福祉協議会のみなさんにお話を聞き勉強させていただきました。

市長 地域を回っていて、今、何か気にかかることはありますか。

深尾 最近は一入暮らして認知症のかたが増えてきて、トラブルが多いのが気になります。

羽鳥 もし川口で大震災と同じ様な災害が起きたときに対処するためにも、日ごろから一時避難場所の位置や、避難する時の注意事項を紙に書いて、一人暮らしのかたやお年寄りの世帯に配布し注意を呼び掛けています。

市長 なるほど。我々もいざ災害の時に、災害弱者と言われていた方が大きな問題です。民生委員のみなさんからいろいろな

情報を入れていただくのはとても大事ですね。それでは今後の抱負をお願いします。

大谷 民生委員が訪問すると、何か生活が心配だから来たという感覚がまだお年寄りにはあり、遠慮されることが多いのですが、身近な相談相手が出来たと思っ接していただくと我々の活動もしやすくなるのでよろしくお願います。

市長 なるほど、気持ちにバリアをはる人がいるわけですか。大変なお仕事で、まさに福祉の最前線のないならぬみなさんです。これからも頑張ってください。今日ありがとうございます。

